

# あの・なはん

No.70

あの・なはん 盛岡弁で「あのねえ」と呼びかけることば

「あの・なはん」は女性ボランティアの「あの・なはん編集委員会」が編集しています。担当：男女参画国際課 ☎626-7525

## 親も子も安心できる放課後 —学童保育クラブ—

男女が共に社会の中で活躍しながら子育てをするためには、子どもを安心して預けられる場所が必要です。就学前は保育所があり、小学校に入学してからは、児童センターや学童保育クラブなどがあります。今回は、父母たちによって運営されている学童保育クラブについて取り上げます。

### ◎求められている学童保育クラブ

#### ■学童保育クラブって？

学童保育クラブは、小学生の放課後や長期の休みに、子どもたちが安心して過ごせる場所。働く女性や核家族が増えているなかで、働く父母たちの強い熱意でつくられました。クラブには子どもたちを見守る指導員がいます。

#### ■いつからあるの？

市内では昭和41年、青山地区に古い家を利用したクラブが初めてつくられました。今でも多くのクラブは敷地を借りて建てたプレハブや借家です。また、父母が運営するクラブのほか自治体やNPOが運営するクラブもあります。

#### ■運営はどうなっているの？

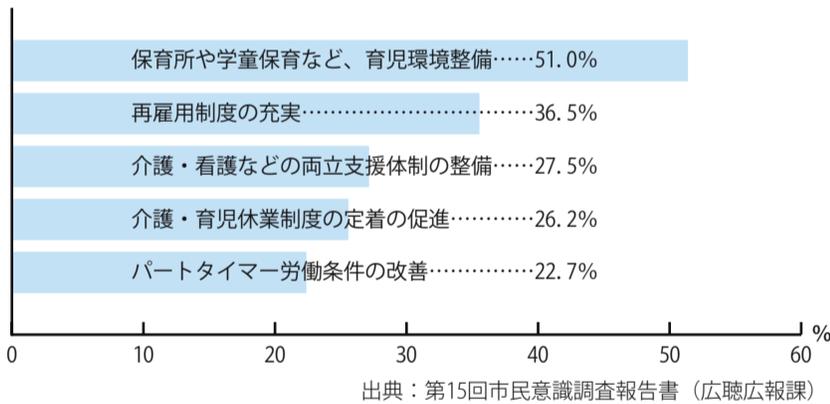
市内では主に、父母たちによる運営委員会が企画運営しています。運営費用は当初、父母たちの保育料のみでした。平成3年から「放課後児童対策事業」として、国や自治体から委託料が支払われるようになりました。

#### ■現在の状況は？

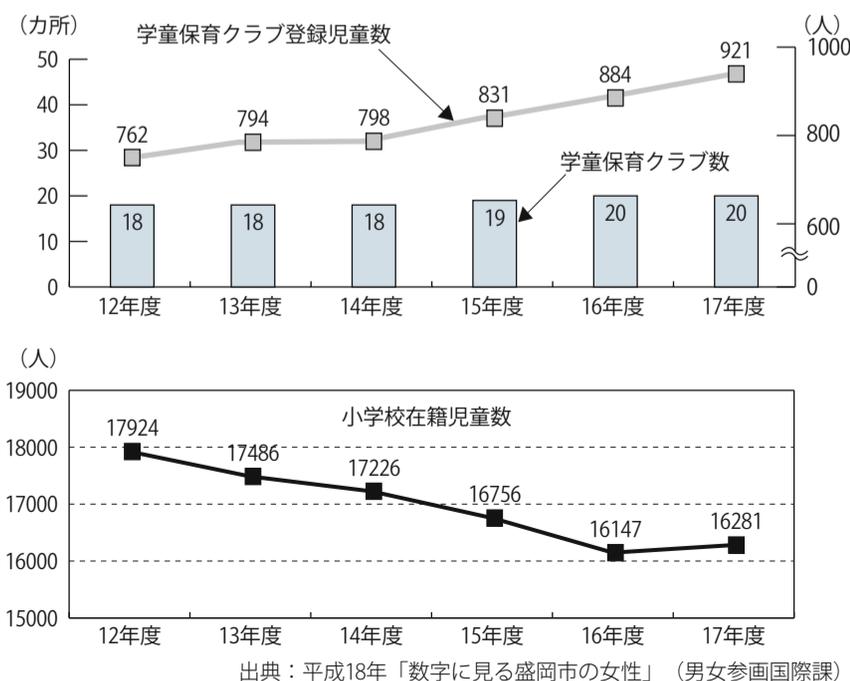
女性が働きやすい環境にするために、必要なものは何か。第15回市民意識調査（平成15年実施）によると、働くためには保育所や学童保育クラブなど、育児環境の整備が最も望まれています（グラフ1）。

小学校の在籍児童数が減少する一方で、学童保育クラブに登録している人数は増加しています。しかし、学童保育クラブ数はなかなか増えていません（グラフ2）。

グラフ1 女性が働きやすい環境に必要なと思うのは何ですか



グラフ2 学童保育クラブ登録児童数と学童保育クラブ数、小学校在籍児童数の推移



### インタビュー

#### 親たちで運営



緑が丘学童保育クラブ父母会会長  
ほその やすひろ  
細野康広さん（46）＝高松四＝

#### 長い付き合いです

子どもたちは、0歳から保育所に入り、その延長で小学校入学と同時に学童保育クラブを利用しています。緑が丘学童保育クラブには、上の子どもから数えると9年お世話になっています。2番目の子が入った5年前からクラブの運営に携わるようになりました。

運営について話し合ったりしています。運営委員以外の父母もバザー係など何らかの役をしています。

#### OBや地域の人たちの協力

市内のクラブでは、新入生歓迎会や運動会などが全体の行事としてあります。

そのほかに緑が丘学童保育クラブ独自で、お泊り会やバザーなども行っています。バザーのときにはOBが品物を寄付してくれたり、地域の人が買いに来てくれたり、大勢の人の協力をいただいています。

#### 親たちで運営

運営は利用者の父母が行っています。運営委員会を毎月1回開き、指導員から子どもたちの様子を聞いたり、行事の計画や

## ◎伸び伸びと過ごせる緑が丘学童保育クラブ

< 14:20 >

「お帰り」と指導員の声。「1年生より早く帰ったよ」と、うれしそうに2年生の女の子が1番乗り。かばんを置くと同時に、音楽に合わせて踊りだす子や、馬跳びやゲームなどを始める子など、にぎやかです。その中で家に帰ってから楽だからと真剣に宿題を始める子もいます。



家ではできないプロレスごっこ

< 16:00 >

全員集合。人数を確認し、役割を分担してみんなで掃除やおやつ準備をし、異なる年齢の班で、おやつを食べます。そのときはさすがに静かです。焼きそばやサンドイッチなど手づくりのものは人気があります。



今日はおにぎり、おいしいね

< 17:00 ~ >

そろそろお迎えの時間。両親やおじいさん、おばあさんなどが迎えに来ます。習い事や通院のため早く帰る子どもや、親の仕事の都合で19時を過ぎる子どももいます。迎えに来たとき、指導員からその日の様子を聞いて帰ります。



お迎えはお父さん、一緒に帰ります

### 放課後児童指導員たちの思い



かむらすけゆき  
嘉村祐之さん(47) =山岸四=

通常4人体制で、子どもたちがやりたい事を自発的にできるように見守っています。

けんかもありますが、大事なのは仲直りできる雰囲気をつくってあげることです。けがや体調に気を使いながら一緒に遊んでいます。いつも同じ仲間だけでなく、異なる年齢の子どもと一緒に遊ぶことができるのも、学童保育クラブの良いところです。子どもたちが学校から楽しみに帰ってくる場所であるとともに、働き続ける父母たちにとっても安心できる所であるように心掛けています。



### インタビュー

## 親も子どもも安心できる放課後

緑が丘学童保育クラブ利用者

ふくらいろほ  
福来路帆さん(31) =緑が丘四=  
敬人くん(緑が丘小1年)

#### 看護師はわたしの生きがい

働きながら5年かけて看護師の資格を取りました。出産後も仕事を続けながら一生の仕事にしようと思っていました。夫も同じ業種なので協力してくれます。現在、3歳の子どももいますが、勤務している病院は子育てに理解があるので働きやすいです。

#### 学童保育クラブへ

学童保育クラブは、保育料が掛かりますが、放課後に子どもを一人にしておくのが心配でし

た。遅くまで預かってくれるので、クラブを利用することにしました。

クラブの詳しいことを知らなかったのですが、子どもが仲良くやれるだろうか、親同士の関係をうまくつくれるだろうか、不安でした。

#### 親も子どもも安心な放課後

指導員が、迎えのときに1日の様子を話してくれますし、何かのときも随時連絡し合えるので安心です。子どもも学年に関係なく遊んだり、スキー教室な

どの行事に参加したり、いろいろな経験ができ、楽しく過ごしているようです。親同士もバザーなどの行事で一緒に作業する中で親しくなれました。

#### 親の役割はしっかりと

平日は、子どもと過ごす時間が取れないので、休日は一緒に遊んだり、買い物に行ったりしています。宿題には毎日、目を通します。夏休みや冬休みなどもクラブに通っていますが、そこでの勉強の計画は、親子で話し合っています。

学童保育クラブを初めて知った人もいないのではないのでしょうか。10年以上前は社会的に認知されておらず、クラブに預けるときには決心が必要だったと聞きました。今では、社会的な意識が変わり始めています。そこには、父母と

指導員の長年築き上げた信頼関係や努力があったのではないのでしょうか。

男女共同参画社会の実現のためには、このような保育環境の充実や周囲の理解と協力が大きな力になっていきます。

### ★あの・なはん編集員募集★

【任期】4月から1年間

【内容】「あの・なはん」の企画や取材、記事編集

【対象】①市内在住の18歳以上  
②毎週水曜日の日中にボランティアで活動できる③男女共同参画に関心がある — のすべてに該当する人

【定員】10人

【活動場所】主にプラザおでって5階、もりおか女性センター(中ノ橋通一)

【申し込み】市役所若園町分庁舎2階の男女参画国際課やもりおか女性センター本館・別館などに備え付けの用紙に必要事項を記入し、3月23日(金)、17時までに男女参画国際課に持参ください。応募多数の場合は選考  
【問い合わせ】市役所男女参画国際課 ☎ 626-7525

### 🌸 はこちら編集室 🌸

助け合い、支え合い、みんなが楽しく生き生きと過ごした日々にありがとう！

(りょう)

働き続けるより子育てを選んで24年。今、わたしは社会へ……  
(Kiku)